

## 千代田図書館 企画展示

**書評紙が選ぶ、今すぐ読みたいベスト16～二大書評紙 初の合同企画展～**

千代田図書館では、企画展示「書評紙が選ぶ、今すぐ読みたいベスト16」および、関連トークイベント「2紙の編集長が語る、書評紙の役割」を開催いたします。

日本を代表する書評紙「週刊読書人」と「図書新聞」が、本展で初めて合同で展示を行います。同じテーマで各紙がセレクトした書籍と書評を並べて紹介するため、各紙の特色が際立つ展示です。また、各編集長が対談を行うイベントも行います。ぜひご注目ください。

**展示 書評紙が選ぶ、今すぐ読みたいベスト16～二大書評紙 初の合同企画展～**

日本を代表する書評紙「週刊読書人」と「図書新聞」が、この1年間に紙面で紹介した書籍の中から、「日本の文学」「海外の文学」「哲学・思想」「政治・社会」「ルポルタージュ」「歴史」「サイエンス」「芸術」の8つのカテゴリごとにベストな1冊をセレクト。その16冊を、両紙のコメントとともにパネルで紹介するほか、両紙が推薦する約150冊を展示（貸出可）します。

両紙のラインナップやコメントからは、書評の世界の奥深さが伝わってきます。1年間に8万タイトルもの本が刊行される今日、自分の感覚にあう書評紙を羅針盤に、広大な書物の海を旅してみませんか。

**会期**：2017年7月24日（月曜日）～10月21日（土曜日）

**会場**：千代田図書館9階 展示ウォールほか

**主催**：千代田区立千代田図書館

**共催**：株式会社 読書人／図書新聞（武久出版株式会社）

**関連イベント 2紙の編集長が語る、書評紙の役割**

書評紙を読んだことはありますか？書評の掲載に留まらず、本を媒介にした批評や言論の場であった書評紙の役割は、近年大きく変わりつつあります。「週刊読書人」と「図書新聞」の編集長が、「書評紙の役割」「いま書評紙に求められていること」のほか、「読むべき本の選び方」「出版業界の現状と裏側」から「怪情報(?)」まで、たっぷり語り合います。本好きな方、出版に興味のある方は、お見逃しなく！

**会期**：2017年9月8日（金曜日）

**会場**：千代田図書館9階 特設イベントスペース

**講師**：明石 健五さん（「週刊読書人」編集長）、須藤 巧さん（「図書新聞」編集長）

コーディネーター：下平尾 直さん（出版社「共和国」代表）

**定員**：50名（事前申込不要・参加無料）

※視聴覚障害や車いす利用などで配慮・支援をご希望の方は、事前に電話やカウンターで支援の内容をご相談ください。また、手話通訳をご希望の方は、8月31日（木曜日）までにご連絡ください。

**本件お問合せ先**：千代田区立図書館 広報室 坂巻 電話 03-5211-4288(千代田図書館)

一般お問合せ先：千代田図書館 千代田区九段南1-2-1千代田区役所9・10階 電話03-5211-4289・4290

千代田区立図書館ホームページ <http://www.library.chiyoda.tokyo.jp/>